

地域/春闘宣伝・配布の様子

2.4/2.18 川崎労連

川崎国民春闘共闘会議・川崎労連は、2月4日（日）溝の口駅近辺、2月18日（日）川崎駅東口10時半からにおいて春闘宣伝を行いました。川崎は地理的に縦に長いことから、溝の口駅と川崎駅の2回に分けて行いました。宣伝では物価上昇を上回る賃上げの必要性やその実現、非正規労働者の格差解消と安定雇用、労働組合への加入の呼びかけ、自民党の裏金問題、ストライキによる要求実現、税・社会負担について呼びかけをしました。また、「労働組合で声を上げれば賃上げできる」のタイトルのビラとアンケート付きの春闘ビラの2枚を織り込んだティッシュを配布。2回の宣伝でティッシュ1000個、また能登半島地震の被災者支援募金も行い多くの募金も寄せられました。2/18の宣伝では、冒頭にうたごえの皆さんにも5人参加していただき、冒頭に「翼をください」「勝利の朝を信じて」、中間に「ねがい」「人間のうた」「青い空は」の計5曲を歌っていただきました。2人連れの年配の女性などが立ち止まって聞き入っている姿を見かけました。最低賃金めざせ1,700円のプラスターに視線を寄せる多くの人がありました。



2.18 鶴見区労連

鶴見区労連は、JR鶴見駅前「春闘一斉宣伝」を行いました。統一チラシとポケットティッシュを賃金引上げや社会保障の拡充、自民党の裏金問題など国民春闘で要求を前進しようと呼びかけながら配布しました。日曜日14時からの宣伝ため、平日通勤時間帯よりも通行人は少なかったですが、朝の宣伝より多い460枚を配布。労働組合に入って、作って、賃金引上げや、参加者の職場実態や賃金引上げ要求のリレースピーチに、高齢女性から「物価が上がって生活が大変」、別の男性からは「大企業は賃上げ、中小企業はそう簡単じゃない」と対話や激励もありました。賃金引き上げや労働組合への関心と期待を感じる宣伝でした。画像【宣伝後に参加者13人で大幅賃上げを勝ちとろうと「団結がんばろう」】



2.17 西湘労連

西湘労連は、2月17日に小田原駅で全県一斉宣伝をとりくみました。15人の仲間が10時に集合し、ピラ折りなど準備をはじめ、10時30分頃より音での訴え、配布行動にとりくみました。西湘労連の池田議長より、日本の異常に低い賃金状況などを話しながら、「労働組合加入して大幅賃上げを実現しましょう」、

「今すぐ最低賃金を1500円に」などと訴え、応援してくれる方もいました。チラシとティッシュのセットは、約700を配布できました。



2.18 横三労連

横三労連は、2月18日の15時から横須賀中央駅Yデッキの下の場所で宣伝を実施しました。横断幕やのぼり旗を立て、独自のゼッケンも作成して道行く市民にアピール。田中事務局長や藤枝事務局次長などがマイクで訴えました。通行人の男性は、「岸田首相の進めている大軍拡はとんでもない。テレビを見ていてむかむかする。使い方を変えるべき」と怒りを述べ、高齢の女性は「なんでもが高くなっていて困る」と生活の厳しさを訴えていました。用意したチラシとティッシュのセットはすべて配布しました。横三労連では、4月にも地域配布行動を計画しています。



2.18 鎌倉労連

鎌倉労連では、2月18日の10時に労連事務所に6人が集合し、地域配布行動を行い、当日は1200枚を配りました。当日に参加できなかった、鎌倉市職労と神奈川土建支部は、別日程で事務所のまわりなどに配布することになっており、2千枚すべてを配り切る計画です。